

(1) 神崎川河口附近 矢板式鉄筋混凝土護岸工事並にポンプ式浚渫船プリストマン式浚渫船により河底浚渫作業中の光景。

神崎川改良工事概要

大阪府土木部工營課長 與田喜知藏

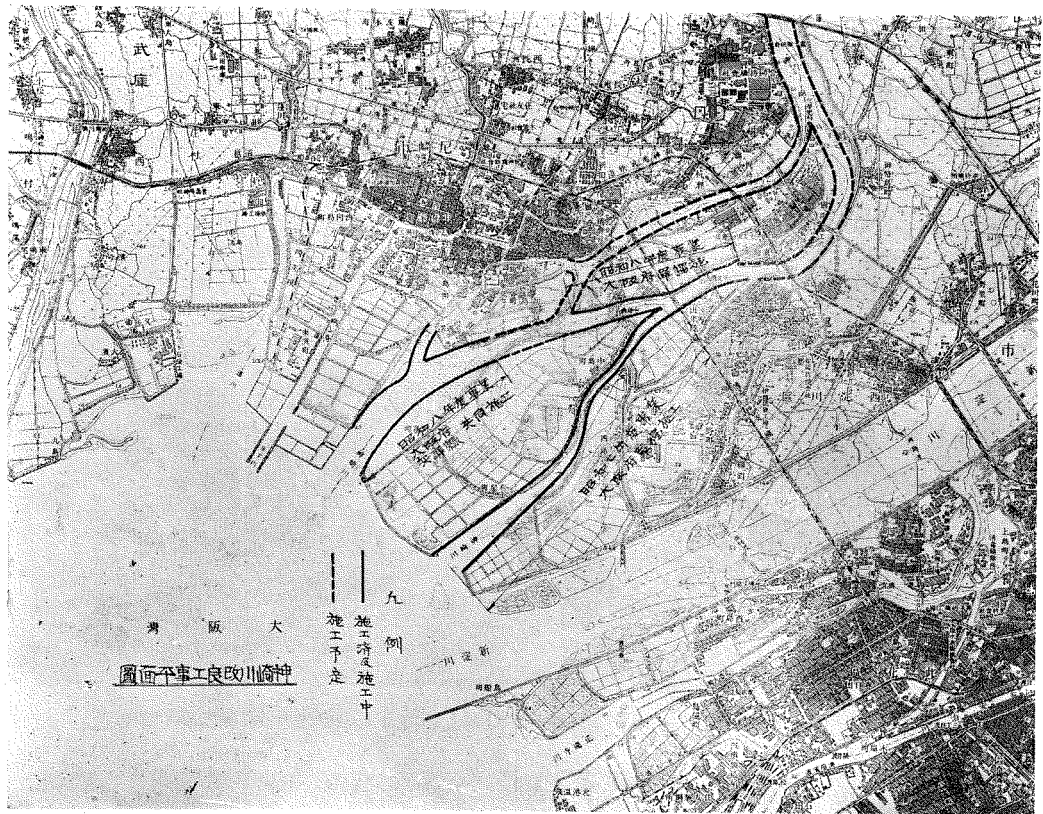
本改良工事は當初昭和七年以降五ヶ年繼續事業として施行の豫定なりしも其の後單年度事業に変更せられたるを以て七八年度施行區域に付き概説せんとす。



(2) 神崎川改修西島町地先、川敷擴張部分舊堤掘鑿新堤築造中の光景(右側新堤左側舊堤)



(3) 同上、西島町地先 川敷擴張箇所舊堤掘鑿を終り新堤及矢板式護岸工略完成の状況。



(3) 神崎川改修工事平面圖。

1、工事區域

大阪市西淀川區中島町外五ヶ町
 尼ヶ崎市東海岸町外三ヶ町

2、計畫概要

本改良工事は流域より流下する洪水を排洩せしむると共に大阪市西部及尼ヶ崎市東部の工場地帯を貫流する關係上之れを運河化し水運の便益を増大せしむるを目的とせり
 改修幅員は流水量神崎川本川に於て三萬個左門殿川に於て二萬個を流疎せしむることとし本川を 150米左門殿川を 100米とせり
 堤防は土堤とし高さは計畫洪水位以上0.6米天端幅員7米とし道路を兼用せしめ築造用土砂は掘鑿及浚渫土を起用す。
 護岸は矢板式鐵筋混凝土護岸とし天端高を平均滿潮位以上0.7米(干滿の差約1.0米)とせり。矢板長は4.5米乃至8.0米なり、護岸と土堤との間に幅員5.0米乃至8.5米の小段

を設け荷役の便を計りたり。

水深は平均滿潮位以下約3.8米とし、船運に支障なからしむることとせり。

河底の浚渫はポンプ式浚渫船 3隻、プリストマン式浚渫船 3隻を使用し浚渫土は築堤廢川敷の埋立に利用し、殘土は民有地の埋立に賣却す。

3、事業費豫算額

七年度事業費	889,838圓	大阪府單獨事業
八年度事業費	700,120圓	同上
同上	600,000圓	
(大阪府負擔300,000圓 兵庫縣負擔300,000圓)		
計	2,189,958圓	

備考 大阪府、兵庫縣に亘る區域の工事は共同施工とし事業費は等分に負擔することに協定工事は大阪府に於て執行す。

(以上)